

# 景気動向調査

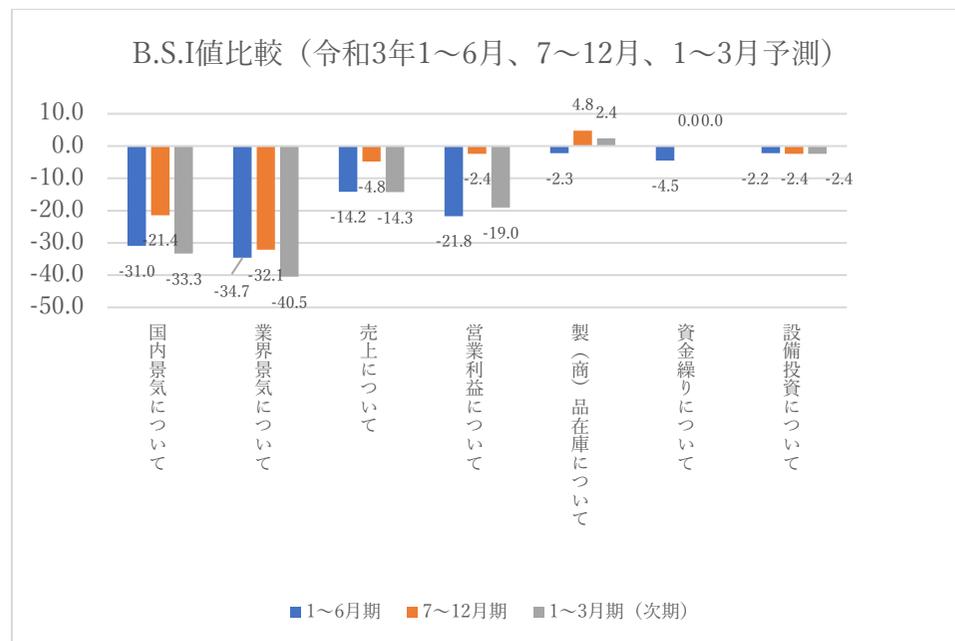
(水産加工業)

令和3年7～9月期、10～12月期

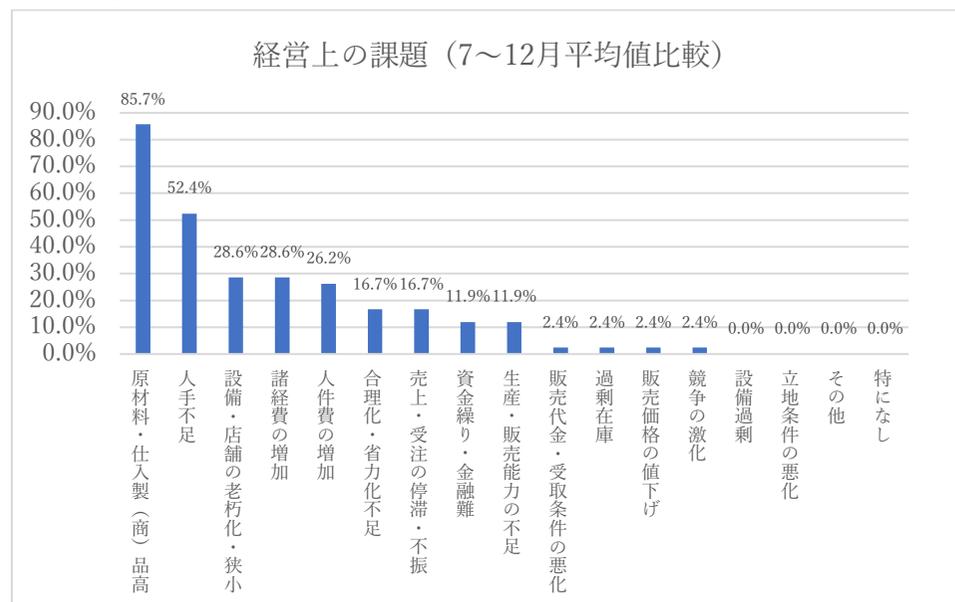
# 調査概要

調査時期：	令和4年1月11日～1月31日	
調査対象時期：	3期	当期：令和3年7月～9月（実績） 次期：令和3年10月～12月（予測）
	4期	当期：令和3年10月～12月（実績） 次期：令和4年1月～3月（予測）
調査対象企業：	水産加工業者40社	
有効回答率：	52.5%	
調査方法：	郵送によるアンケート方式	
調査内容：	① 業界景気、自社景況などの実績と次期予測 ② 経営上の課題 ③ 新型コロナウイルスの事業への影響、行政に望む支援など（自由記述）	

## ※参考① B.S.I値



## ※参考② 経営上の課題



# 調査総評

## （1）B.S.I値

- ・景気や売上（利益）に関する項目の7～12月平均は、いずれも1～6月平均を上回る結果となる一方で、次期は悪化の予測となった
- ・設備投資、資金繰り等については、大きな変動はない見通しに

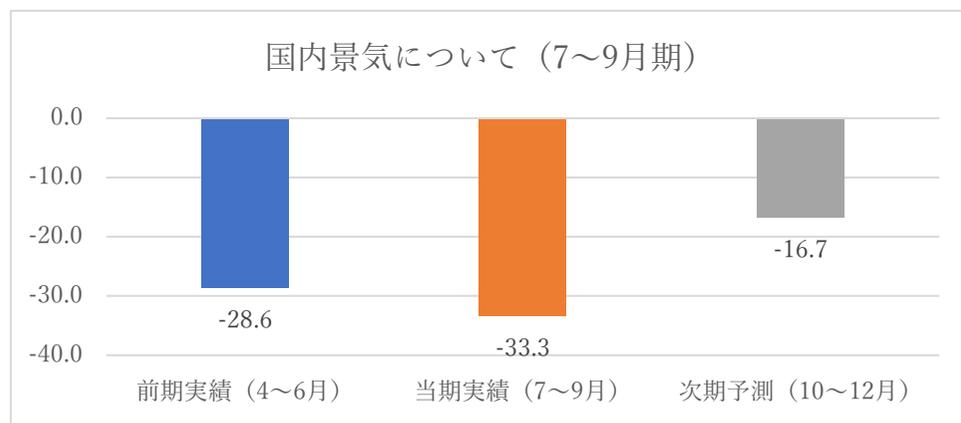
## （2）経営上の課題

- ・「原材料・仕入製（商）品高」への回答が約85%と、突出した数値が出た
- ・「人手不足」も50%以上の回答を集め、事業者をとりまく経営課題が多岐にわたっていると推察できる

# 1. 質問 1 集計結果 —B.S.I 値でみる景気動向—

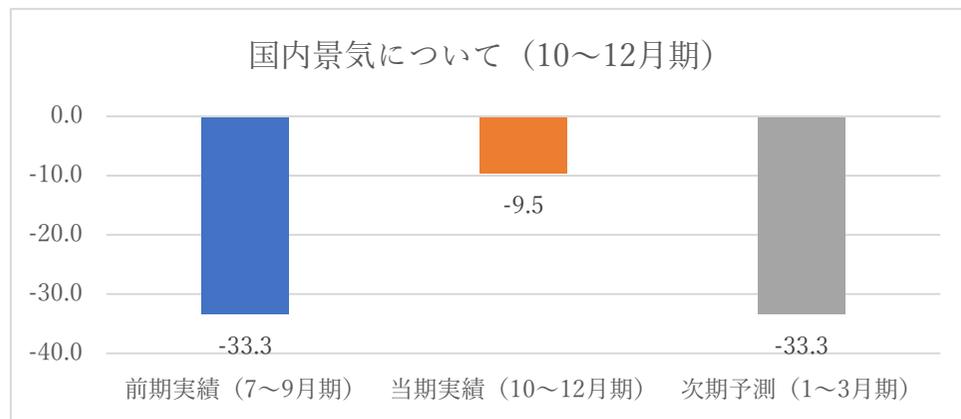
## (1) 国内景気について

・7～9 月期



水産加工業者から見た7～9月期の国内景気は、-33.3と前期より悪化したと受け止められた。

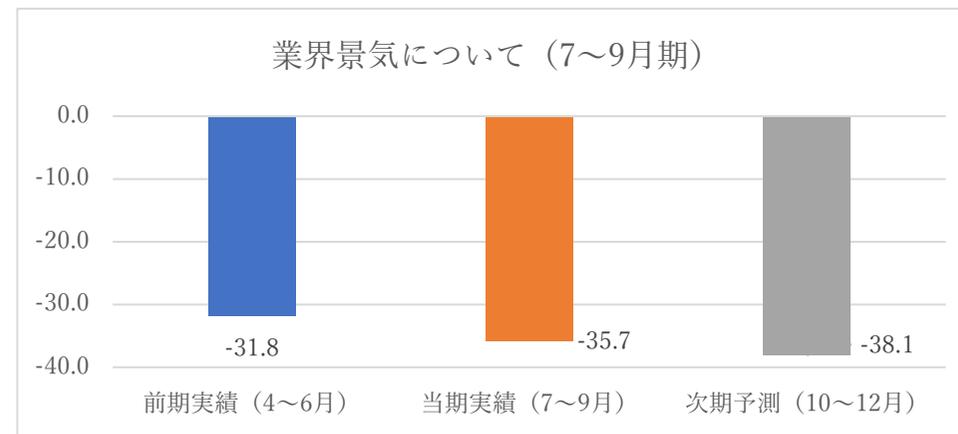
・10～12 月期



同じく10～12月期の国内景気は、-9.5と前期より改善状態にあった。一方で次期予測は前期実績と同値に戻り、悪化の予測となった。

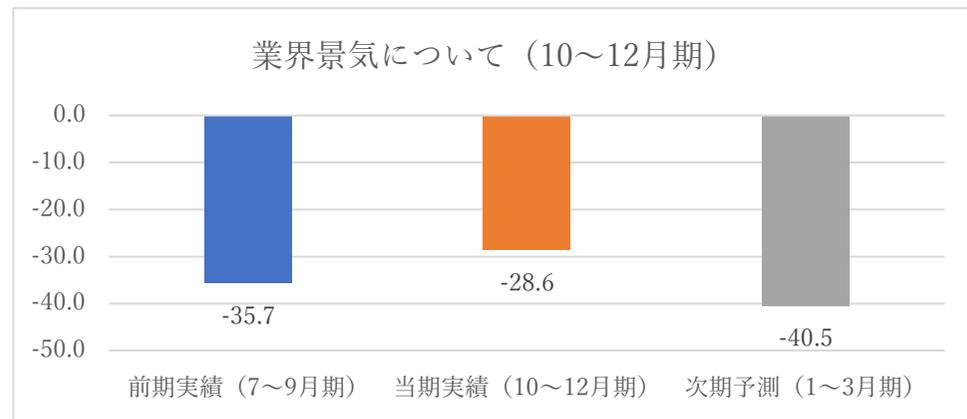
## (2) 業界景気について

・7～9 月期



7～9月期の業界景気は-35.7と前期より約4ポイント数値を落とした。また、次期についても数値微減ながら悪化の予測となった。

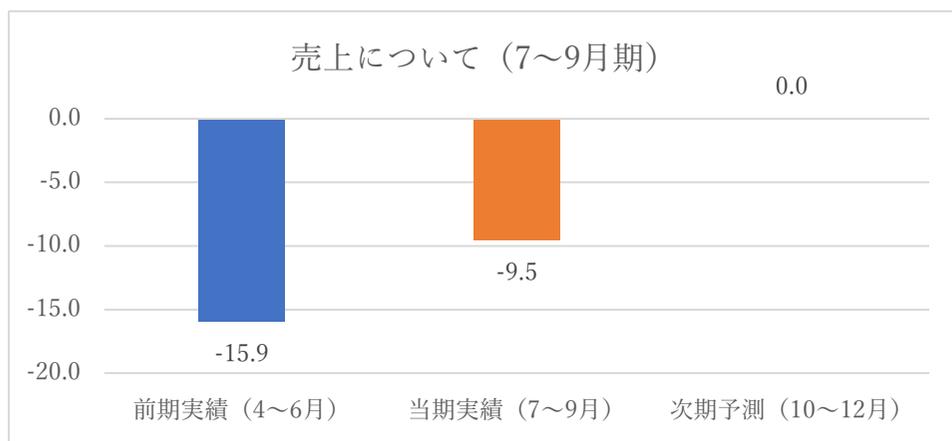
・10～12 月期



10～12月期の業界景気は、-28.6とやや改善状態にあった。一方で次期予測は-40.5と、悪化の予測となった。

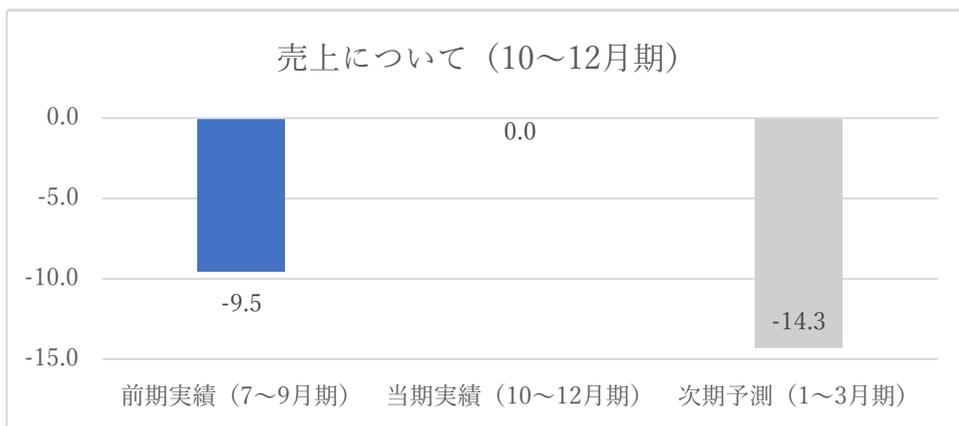
### (3) 売上について

・7～9月期



7～9月期の売上は-9.5と、前期より改善状態にあった。また、次期についてもさらに改善の予測値となった。

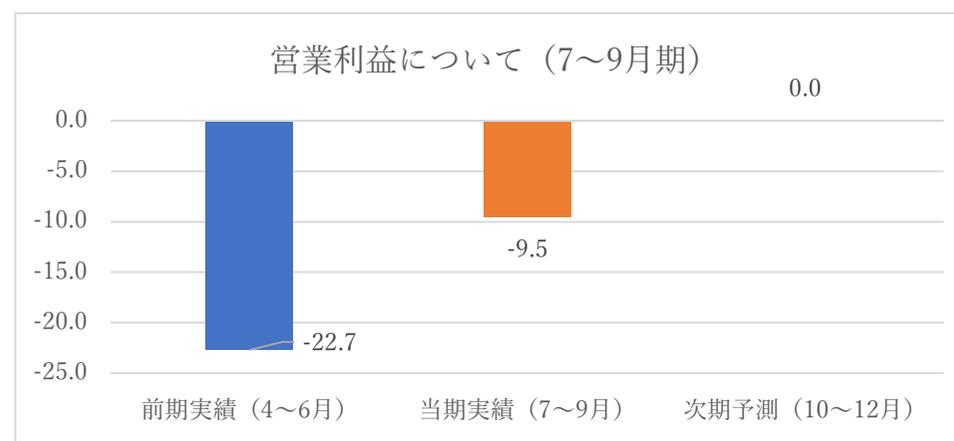
・10～12月期



10～12月期の売上は、前期の7～9月に続きさらに改善傾向にあった。一方で次期予測は-14.3を記録。二期続けて改善傾向にあったが、悪化の予測となった。

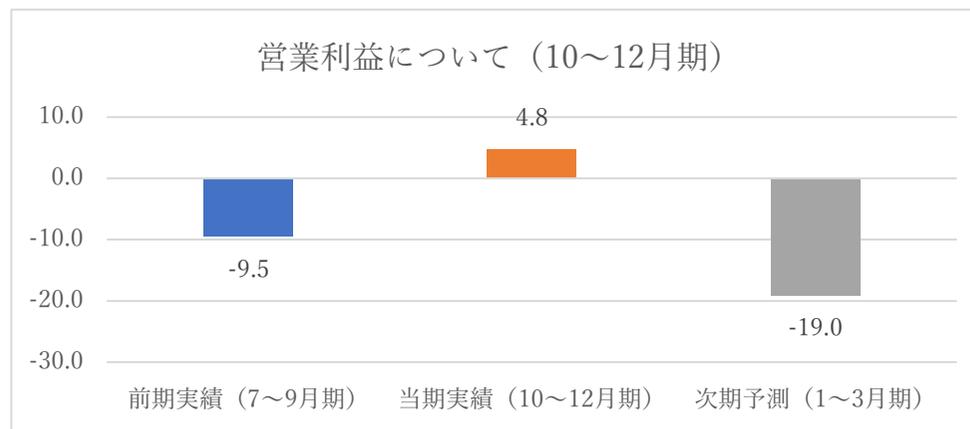
### (4) 営業利益について

・7～9月期



7～9月期の営業利益は-9.5と、前期より改善状態にあった。また、次期についてもさらに改善の予測値となった。

・10～12月期

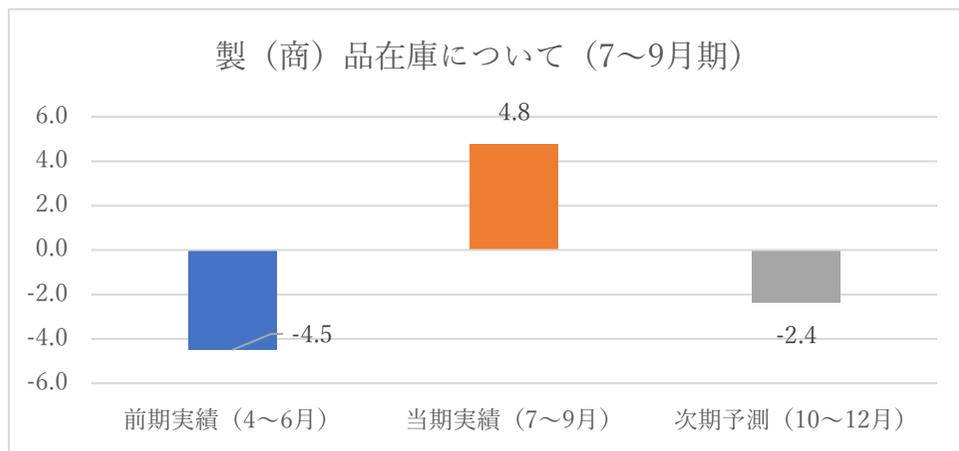


10～12月期の営業利益は、前期の7～9月に続きさらに改善傾向にあった。一方で次期予測は-19.0を記録。二期続けて改善傾向にあったが、悪化の予測となった。

### (5) 製(商)品在庫について

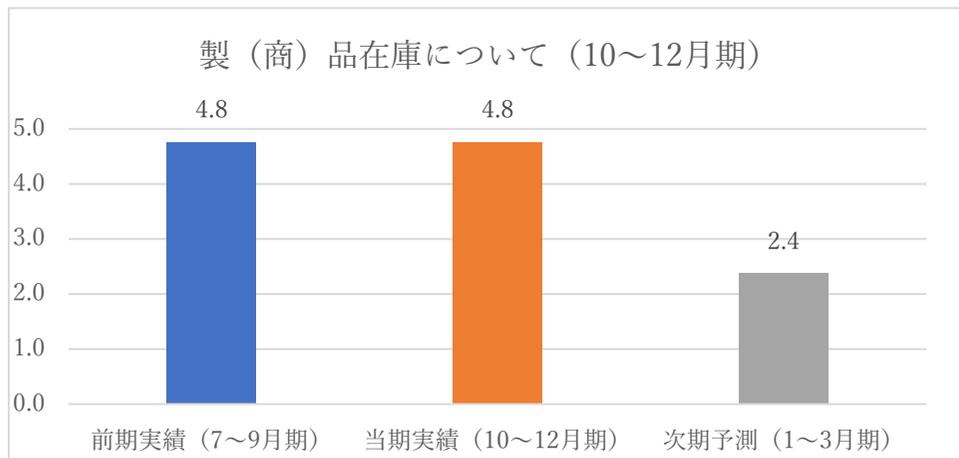
(プラスは過少、マイナスは過多を表す)

・7～9月期



7～9月期の製(商)品在庫は4.8とやや過少傾向にあった。一方で次期予測は-2.4を記録。在庫過多の見通しとなった。

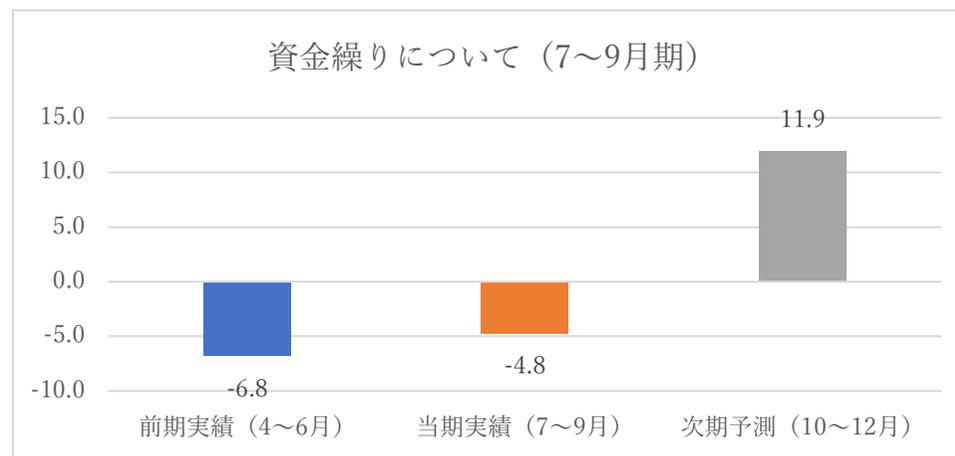
・10～12月期



10～12月期の製(商)品在庫は4.8を記録。前期に引き続き、やや過少状態にあった。次期予測も数値微減ながら、同様の状態が続く見通し。

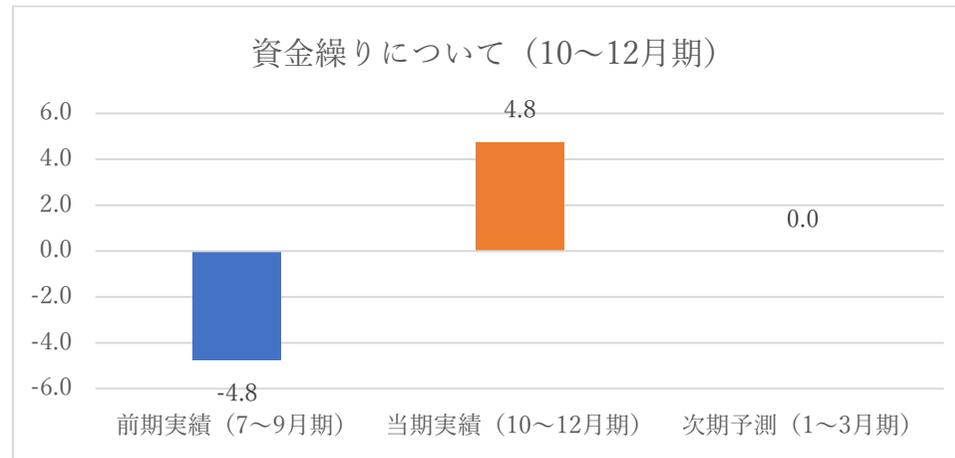
### (6) 資金繰りについて

・7～9月期



7～9月期の資金繰りは-4.8を記録。やや苦しい状態にあった。一方で次期予測は11.9を記録。改善の見通しに。

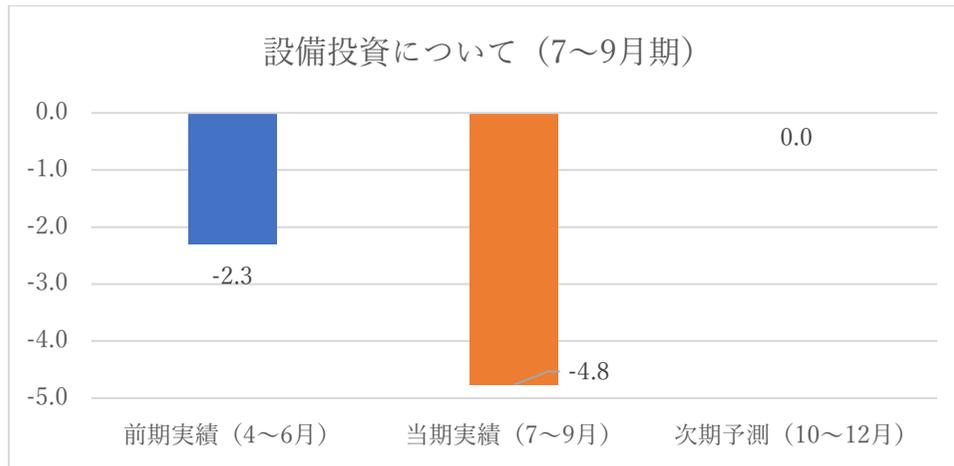
・10～12月期



10～12月期の資金繰りは4.8を記録。改善状態にあった。次期予測は数値微減で0.0に。

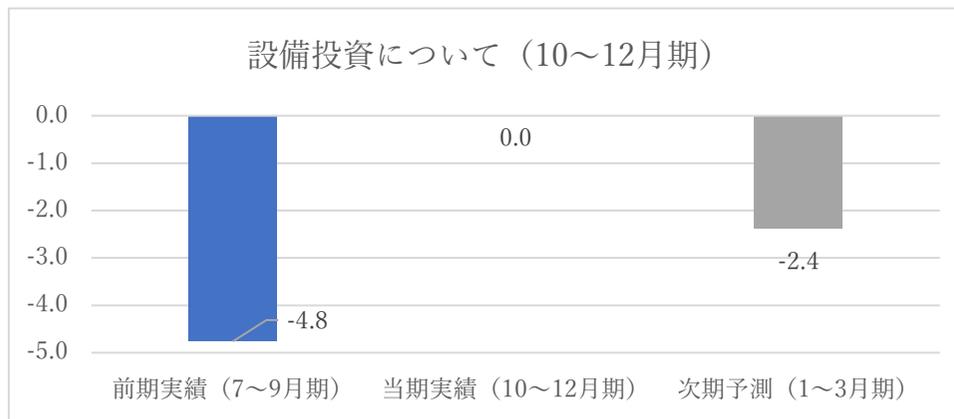
## (7) 設備投資について

・7～9月期



7～9月期の設備投資は－4.8を記録。若干ながら悪化の傾向に。

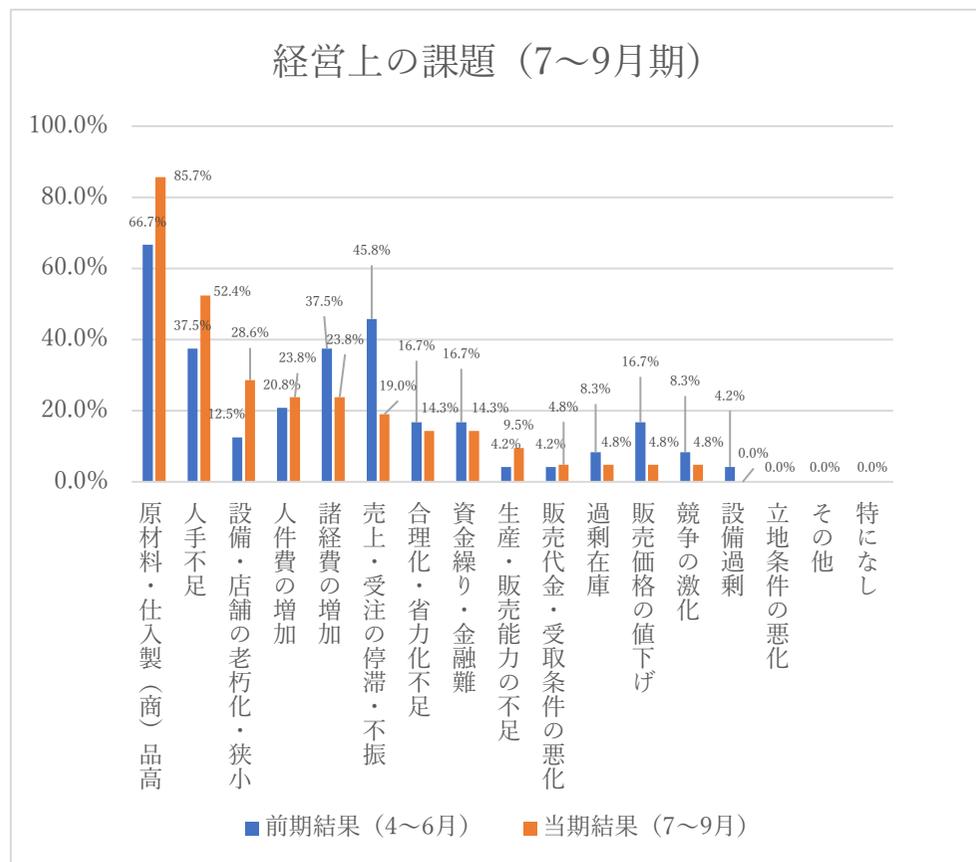
・10～12月期



10～12月期の設備投資は0.0を記録。次期予測は－2.4と若干ながら悪化の見通し。4～6月期から通算して、数値に大きな変化は見られない。

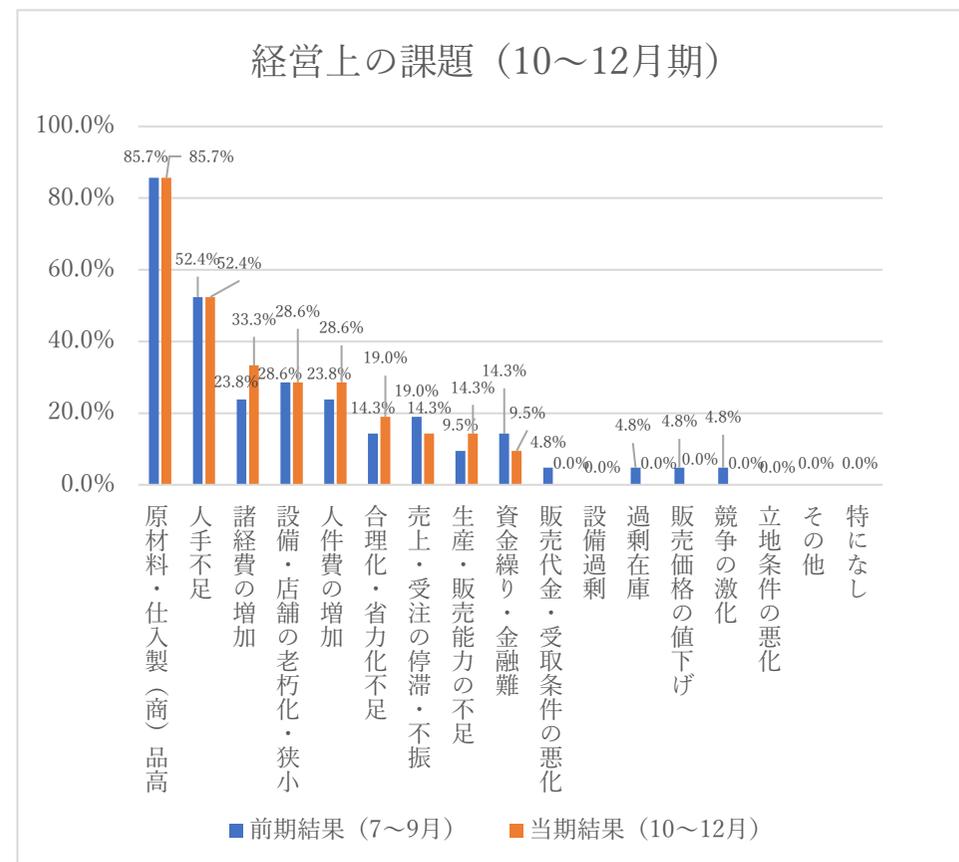
## 2. 質問 2 経営上の課題 —業種別経営上の課題—

(1) 7～9 月期



- ・「原材料・仕入製(商)品高」は85.7%の事業者から回答を集めた
- ・「人手不足」は半数以上の事業者から回答があった
- ・前回多くの回答が集まった「売上・受注の停滞・不振」の回答割合は、約25%減の19.0%に

(2) 10～12 月期



- ・「原材料・仕入製(商)品高」、「人手不足」は当期も引き続き多くの回答を集め、突出した数値となっている
- ・「諸経費の増加」への回答割合がやや増加しているが、その他項目は7～9月期と比較して大きな変化はない

### 3. 新型コロナウイルスの事業への影響、行政に望む支援など（自由記述）

#### ○新型コロナウイルスの事業への影響

- ・売上不振
- ・諸経費の値上がりにより利益を圧迫している
- ・技能実習生が入国できず、生産体制に影響が出た。先が読めずに困っている

#### ○望む支援の内容

- ・地場産品の優遇
- ・消費者が買い物をしやすい環境を整えてほしい
- ・新規外国人の入国再開（制限の緩和）
- ・助成金の拡充。支給要件の緩和
- ・雇用調整助成金の継続
- ・金融機関の融資条件緩和
- ・社会保険の納付猶予の延長
- ・人手不足

#### ○その他

- ・働き方改革により定められた日数の有給取得を義務化した結果、製品の製造単価が上昇
- ・度重なる地震や台風により、設備が打撃を受けている。コロナウイルスもだが、こうした部分への支援も拡充してほしい

## 参考

### B.S.Iとは

- ・「 Business Survey Index (ビジネス・サーベイ・インデックス)」の略で、景況判断指数のひとつ
- ・現在の景気水準をはかる DI (ディフュージョン・インデックス) に対して、B.S.I は前期と現在の景気状況を比較するため、景気の方法性を判断できる
- ・下記の計算式で算出された数値が、プラスであれば景気に対する判断は上向き、マイナスであれば下向きと判断する

計算式：(「上昇：好調の要素」－「下降：不調の要素」) ÷ 2

※最大値はプラスマイナスいずれも「50」となる

## 質問 1

以下の項目について、当期実績および次期予測を伺います。選択肢から該当するものを選び解答欄にご記入ください。

	項 目	回答欄	
		当期実績	次期予測
1	国内景気について 1. 良い 2. やや良い 3. 不変 4. やや悪い 5. 悪い		
2	貴業界景気について 1. 良い 2. やや良い 3. 不変 4. やや悪い 5. 悪い		
3	貴社 売上について 1. 増加 2. やや増加 3. 不変 4. やや減少 5. 減少		
4	貴社 営業利益について 1. 増加 2. やや増加 3. 不変 4. やや減少 5. 減少		
5	貴社 製(商)品在庫について 1. 過少 2. やや過少 3. 不変 4. やや過多 5. 過多		
6	貴社 資金繰りにについて 1. 容易 2. やや容易 3. 不変 4. やや困難 5. 困難		
7	貴社 設備投資について 1. 増加 2. やや増加 3. 不変 4. やや減少 5. 減少		

